

① 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-158	高等学校	数学	数学A	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
61 啓林館	数A709	数学A		

1. 編修の基本方針

- (1) 学習指導要領の目標の達成を期し、わかりやすい例や説明から始めて、学習の便宜を考え、例題は精選して取り扱い、計算の仕方、数学の見方や考え方の理解はもちろん、数学の知恵を養い、活用する力も育むことができるように配慮して編修しました。
- (2) 教師が、学習目標や指導内容を正しくとらえ、生徒の実態に応じて創意工夫をこらした指導ができるように配慮しました。
- (3) 生徒が、学習内容に興味・関心をもち、自発的・意欲的な学習活動ができるように配慮しました。



2. 対照表

教育基本法 第2条 教育の目標

教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

- 第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色（号番号は教育基本法を表す）	該当箇所
教科書全体	<ul style="list-style-type: none"> ・各章扉に日常や社会に関連する課題を提示し、職業及び生活との関連を重視するとともに、主体的に社会の形成に参画できるようにしました。(第2号)(第3号) ・各章末に「思考力を養う」、巻末に「思考力をみがく」のコーナーを設定し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるようにしました。(第1号) ・目的意識を持って学習に臨むことができるように、新しい考え方について提示の仕方をApproachとして工夫しました。(第2号) 	<p>p. 15, 71</p> <p>p. 70, 118, 142~147</p> <p>p. 16, 21, 22等</p>
巻頭	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな情操と道徳心を培うという観点から、前見返しに各章に関連する写真等を配し、また巻頭には「本書の特徴」と「本書の構成」を設け、自ら進んで学習する態度を育むことができるようにしました。(第1号) 	p. i ~ ii, 4~6

<p>第1章 場合の数と 確率</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・くじの公平性の話題を取り上げ、真理を求める態度を養うことができるようにしました。(第1号) ・小遣いのもらい方や原因の確率の問題を取り上げ、職業及び生活との関連を重視し、数学を利用して身のまわりの問題を解決できるようにしました。(第2号) ・公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画できるように、スポーツ射撃の題材を取り上げました。(第3号) 	<p>p. 64, 67</p> <p>p. 15, 53, 66</p> <p>p. 65</p>
<p>第2章 図形の性質</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オイラー線やギリシャの三大作図問題、正多面体は5種類しかないことを取り上げ、幅広い知識と教養を身に付け、真理を追究する態度を養うことができるようにしました。(第1号) ・職業及び生活との関連を重視するという観点から、サッカーにおけるシュートの話題を取り上げました。(第2号) 	<p>p. 87, 104, 113</p> <p>p. 71, 118</p>
<p>第3章 数学と 人間の生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・古代エジプトの象形文字や、古代ギリシャの測量、江戸時代の三角測量を取り上げ、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に取り組むとともに、伝統と文化を尊重し、他国を尊重できるようにしました。(第4号)(第5号) ・真理を求める態度を養い、職業及び生活との関連を重視するという観点から、GPSのしくみや有限確定完全情報ゲームの話題を取り上げました。(第1号)(第2号) ・誕生日当てや石取りゲームを扱い、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画できるようにしました(第3号) 	<p>p. 120, 134～135</p> <p>p. 133, 140</p> <p>p. 125, 138～140</p>
<p>巻末広場</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「思考力をみがく」のコーナーでは、数学を利用するさまざまな場面の問題を取り上げました。また、自ら課題を見つけ解決することを促す記述を入れたり、自他の敬愛と協力を重んずるという観点から、作業性のある課題を配しました。(第1号)(第2号)(第3号) ・「math tips」のコーナーでは、道順の総数の別の考え方や倍数判定法を紹介し、幅広い知識と教養を身に付け、創造性を培い、その能力を伸ばすことができるようにしました。(第1号)(第2号) ・他国を尊重するという観点から、内容に関連した数学者を、その年代を示した年表とともに紹介しました。(第5号) ・主な数学用語の英語表現を示しました。(第5号) 	<p>p. 142～147</p> <p>p. 148～149</p> <p>p. 150～151</p> <p>p. 156～157</p>
<p>3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特徴</p>		

① 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-158	高等学校	数学	数学A	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	数A709	数学A		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

[1] 構 成

(1) 新しい考え方の導入を工夫し、学習内容を総合的に理解できるように配慮しました。

これまでに学習した知識を用いて新しい考え方を学習する場面では、例とは違う要素としてApproachを新たに設け、まず課題を提示し、理解がスムーズに進むように展開を工夫しました。その上で、本文をより深く理解することを助けるために、多くの例を取り上げて説明するように努めました。そして、その知識の定着と応用力をつけるための例題や応用例題を積極的に取り上げました。

また、スパイラルに学習展開がなされるように配列を工夫しました。

さらに、別の視点での解法や解釈、派生してわかることなども効果的な場面に掲載しました。

(2) 図版や色刷りを効果的に用いて、説明は簡潔に要領よくまとめました。

文章の説明だけではわかりづらい内容については、図を用いてスムーズな理解ができるようにしました。

また、問題に取り組む際の思考の過程を本文に書き添え、解決に至る道筋がわかりやすくなるようにしました。

さらに、カラーユニバーサルデザイン(CUD)の観点から、誰にでも見分けられる色使いを心がけました。

(3) 枠囲みや下線などを利用し、学習の内容や要点がわかりやすい紙面構成にしました。

小見出しを細かく配置して、内容ごとのまとまりが明確になるよう心がけました。そして、中学までの既習事項に当たる部分ができるようにマークをつけ、生徒の理解に応じた扱いや軽重をつけての指導ができるようにしました。

また、枠囲みを利用して学習の要点が一目でわかるようにしました。特に注目してほしい部分には下線を引いて注意を促すようにしました。

(4) 総合的な応用力を養えるように問題の配置を工夫し、活用力もつくようにしました。

例、例題、応用例題の後の「問」で学習内容の理解と定着をはかり、「+問」でやや応用的な問題に取り組み、「節末問題」、「章末問題A」、「章末問題B」と段階を追って学習を進めることで、総合的な応用力を養えるようにしました。そして、本文中に関連する節末問題や章末問題Aへのリンクをつけて、節末問題や章末問題Aが柔軟に扱えるようにしました。

また、章扉で日常や社会に関連する課題を提示し、本文中で解決できるようにして、数学を活用する場面にふれることができるようにしました。

そして、理数教育の重視の観点から、進んだ内容を研究として取り上げました。

(5) 学習の中でICTを有効に活用できるようにしました。

コンピュータを有効に活用することで学習内容の理解が深まる場面には、「コンピュータの活用」のコーナーを設け、コンピュータ画面を示して解説するとともに、QRコードも有効な場面では掲載し、その様子をみたりできるようにしました。さらに、QRコードは学習効果が図れる場面に適宜入れ、自分で動かしたり動画をみたりなどできるようにし、生徒の主体的な学習をサポートできるようにしました。

[2] 内 容

「数学Ⅰ」と並行して履修する場合を考慮し、まず序章として「数学Ⅰ」の「集合」と同一の内容を参考のために掲載した後、中学校からのつながりを配慮して「場合の数と確率」「図形の性質」「数学と人間の活動」の順に配列しました。

各章および巻末において留意した点は次の通りです。

第1章 場合の数と確率

場合の数においては、数え上げの基本として樹形図を例とともに示すことでその有用性を認識させ、そこから順列や組合せの考え方につなげていく構成としました。

順列・組合せにおいては、複数の考え方や求め方を随所で紹介し、場合の数だけでなく、確率を求めるときにも様々な考え方ができるように工夫しました。

期待値を、確率の基本性質、余事象の確率の後に配し、早い段階で確率を求めることの有用性が伝わるような配置にしました。

理解が難しい条件付き確率は、扱う問題や解法の示し方を定義に沿ったものから段階を追って便宜的なものにしていき、スムーズに理解できるようにしました。

第2章 図形の性質

スパイラルに学習を進めるという観点から、この章においては特に、中学までに学習した内容を復習しながら新たな図形の性質を取り上げていくという構成にしました。

三角形の性質においては、代表的な三角形の五心を簡潔にすべて扱い、オイラー線をコンピュータの活用場面で紹介して、三角形に関する更なる探究につながるようにしました。

作図においては、中学で既習の作図を「基本作図」として取り上げた後、それらを用いた作図題に取り組みの流れとしました。そして、各問題においては、作図方法を述べた後、それが求める解になっていることの説明を配し、図も手順がわかるようにし、理解しやすいようにしました。

空間図形においては、各頂点に集まる正多角形の角を考えることで、正多面体が5種類しか存在しないことがいえることにもわかりやすくふれるようにしました。その際に利用するオイラーの多面体定理の証明についても、コラムとして図を用いてわかりやすく直感的に理解できるように紹介しました。

第3章 数学と人間の活動

「数学と歴史・文化」と「数学とパズル・ゲーム」の2つの節に分け、テーマごとに完結させ、どこからでもどの順でも扱えるように工夫しました。

テーマによっては、さらに深く考えるきっかけとなる問を最後に配し、探究活動につながるようにしました。

数学と歴史・文化においては、それぞれの内容の歴史的背景や社会での活用例についてもふれるようにし、数学が歴史とともに発展し、活用されてきたことがわかるようにしました。

数学とパズル・ゲームにおいては、簡単な場合から順序立てて論理的に考えていく手法が身につくように流れを工夫しました。

巻末広場

身近な題材や興味深い題材を取り上げ、問題解決から自主的な探求活動につながるようにしました。

2. 対照表			
図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
第1章 場合の数と確率	(2), 内容の取扱い(2)	p. 15～70	30
第1節 場合の数	(2)ア(ア), イ(ア)	p. 16～24	5
第2節 順列・組合せ	(2)ア(イ), イ(ア)	p. 25～40	8.5
第3節 確率と期待値	(2)ア(ウ), イ(ウ) / 内容の取扱い(2)	p. 41～54	7.5
第4節 いろいろな確率	(2)ア(エ)(オ), イ(イ) / 内容の取扱い(2)	p. 55～67	7
第2章 図形の性質	(1)	p. 71～118	24
第1節 三角形の性質	(1)ア(ア), イ(ア)(イ)	p. 72～88	9
第2節 円の性質	(1)ア(イ), イ(ア)	p. 89～100	6
第3節 作図	(1)イ(ア)(イ)	p. 101～105	3
第4節 空間図形	(1)ア(ウ), イ(ア)	p. 106～115	4
第3章 数学と人間の活動	(3), 内容の取扱い(3)(4)	p. 119～140	15
第1節 数学と歴史・文化	(3)ア(ア), イ(ア) / 内容の取扱い(3)(4)	p. 120～135	10
第2節 数学とパズル・ゲーム	(3)ア(イ), イ(イ) / 内容の取扱い(3)	p. 136～140	5
		計	69